

## Topics

### 鬼北町の望ましい学校の適正規模・適正配置とは…

1月28日、鬼北町学校適正規模・適正配置検討委員会による「望ましい学校の適正規模・適正配置について」の答申が出されました。その内容については次のとおりです。

学校の適正規模については、法により示されていますが、社会状況の変化や多様な教育改革の取り組みによって学校も変革している状況を見ると、鬼北町としては「望ましい規模」として結論を出さざるを得ません。

学校の適正配置については、学校の通学区域はそれぞれの歴史とともに地域社会と深い結びつきをもち、また学校そのものは地域づくりや防災の拠点としての機能を併せ持っています。そういった役割を考慮すると、地域関係者、保護者の意見を尊重しながら、学校・地域・行政が連携して進めていく必要があります。

今回の検討委員会においては、「現在の状況では、統廃合の必要はなく適正規模・適正配置の検討は必要ない」という意見が複数ある一方、「統廃合の必要性は理解するものの、その時期についての検討そのものは期間をおくことが適当である」との意見が大多数を占めました。

また、小学校の適正規模・適正配置の検討は、「各小学校別での設定が望ましい」との意見が多数ありましたが、過小規模学校の児童数が均衡していること、児童一人あたりの行政経費格差の発生などの問題を考慮し、町全体として検討を行うことが適当であると考えます。

さらに、中学校においては、日吉小中一貫教育の現場の状況を考慮するとともに、今後の出生状況も注視する必要があります。

一方、鬼北町の小学校の配置区域には、それぞれに区長会・自治会が存在しており、お互いが良い連携を保ちながら現在に至っています。特に、学校環境や学校経営面において、子どもたちを含めて地域全体としても最大値に近い効果を出しています。子どもたちの未永い幸せを考えた場合、現在の各校区単位の地域活動が学校の統廃合によってさらに疲弊化し、「ふるさと」そのものの存続が危ぶまれる状況は、憂慮すべき事態であります。

小規模校の存在効果の低下が顕著に表れるまでの間、しばらく見守ると同時に、教育効果の低下を出来る限り防止する行政施策・教育施策が展開されることを望みます。

以上の結果から、鬼北町における学校の適正規模・適正配置については、「5年以内に再検討する」との結論に達しました。

また、今後数年間小規模校が存するにあたり、小規模校の子どもたちの教育的配慮に特化した対策を、教育行政の最重要課題と位置付けていただくことを望みます。

## Topics

### 地域の安心安全のために、火災ゼロを目指して…

1月31日、鬼北総合公園グラウンドで「平成28年鬼北町消防出初式」が開催されました。

式では、機械器具点検などの他、長年消防団員として活動している団員たちに対して、各種表彰の授与が行われました。また、甲岡秀文鬼北町長が「町民の財産と生命を守るため日夜頑張っていたいただき頭が下がる思いである」と激励。消防団員たちは、地域防災の要としての決意を新たにしていました。



#### 各表彰者(敬称略)

【愛媛県知事表彰】●功労章=節安秀夫、松浦正、岩井幸象

【愛媛県消防協会長表彰】●功績章=芝隆夫、宮本茂幸

●勤続章=入田伸介、福原哲也、松浦慎二、善家通安、河野輝彦、毛利達也、氏本学、渡邊順一、室拓郎、岡本謙二、山田勝、平野邦彦、茂浦口道明、上山泰昌、渡森勤、富永正二、影山裕之

【愛媛県消防協会長感謝状】

●内助の功労=二宮さつき、芝さおり、芝美紀、戸田みわ子

【宇和島地区消防団連合会長表彰】

芝三展、武田庄司、高山重之、岡部国仁、清家佑樹直、芝慎太郎、兵頭一誠、善家雅文、清家徳徳、野地浩志、葛川修一、森本茂嗣、藤原裕二、水野貴匡、兵頭尚、林健二、松本英一、中川祐二、清水京子、兵頭久美子、米原道子

【鬼北町長表彰】

松田浩志、松浦良樹、加形哲也、芝隆裕、高田英樹、善家和久、善家正常、高田竜二、岡本学、谷口聡、五島暁、木下和也、渡邊康志、金子健三